

南ユタ大学短期プログラム 報告書

北海道教育大学函館校
地域協働専攻国際協働グループ
2年目 6015 平木咲衣

8月28日から9月17日にかけてアメリカのユタ州にある南ユタ大学の3週間短期プログラムに参加してきました。実際に感じた現地の雰囲気や学んだことなどをいくつか紹介したいと思います。

・南ユタ大学について

通称 SUU(Southern Utah University)と略され、とても規模の大きな大学です。学部棟がいくつも存在し、Student Center にはビュッフェスタイルの学食やファストフード店、コンビニや書店が多く立ち並び、昼にはたくさんの生徒達でとても賑わっていました。さらにスイミングプールやボルダリングなどを完備したとても大きなジムもあり、それぞれが好きなスポーツをして楽しんでいたのも魅力的でした。

また、SUU はとても地元に着している印象を受けました。地元の服屋さんに SUU のロゴが入ったグッズが売られていたり、スーパーではコカ・コーラの缶で SUU のモザイクアートが作られていました。地元の色々な側面と大学がコラボしている様子は日本にはあまり見られない光景だと思いました。

・ホームステイの生活

ホストファミリーとの生活はとても充実したものでした。私を受け入れてくれた Howard 一家はとても優しいだけではなく、アメリカのことについていろいろ教えてくれたり、逆に日本のことについても興味を持ってくれたりしました。メディアを通してない生の現地の声を聞くということはとても価値のある経験で、かけがえのない時間になりました。大学終わりの放課後や土日には、ショッピングや教会、フットボールの試合に連れて行ってくれました。また、とても映画好きな家族だったので、一緒にたくさんの映画を観ました。日本語の吹き替えも字幕もないので理解が難しい場面もありましたが、そのおかげでリスニング力や英語のスラングはたくさん知ることができたと思います。3週間のホームステイが終了した時は寂しい気持ちでいっぱいでしたが、今でも SNS で繋がり、本当の家族のような存在です。

・プログラムの内容

午前中は ESL(English Second Language)クラスが 9:00-12:00 に行われました。このクラスは主に座学ではありましたが、アイスブレイクやポスターセッションなどのアクテ

イビティーも盛んに行われました。最後には他のクラスの方々と BBQ も開催されてとても楽しかったです。ESL クラスが終わった後は 1 時間のランチタイムがあって、午後からは課外活動が主でした。ロープアクティビティーやインディアンセンターで日本の伝統衣装についてのプレゼン、現地の大学生の講義に参加したりと交流活動がとても楽しかったです。

📷 プログラムの一環としてみんなで Bryce Canyon に登った時の写真 📷



・ユタの生活環境

ユタは暑い印象でしたが、実際には 8 月で暑さは収まり、後半は肌寒い日々が続きました。さらに、外は暑くても屋内は冷房がしっかりと効いているため、パーカーやブランケットがあるといいと思います。また、とても乾燥しているので保湿クリームやマスクがとても役に立ちました。

私のホームステイ先は大学から少し離れていて、片道車で 10~15 分かかりましたが、行きも帰りもホストマザーが送り迎えしてくれたので特に危険な目に合うこともありませんでした。その他の場所に移動するときも現地のカウンセラーたちが送迎してくれたり、みんなで歩いて向かったりしたので、交通手段で困ることはまずないと思います。

食事はやはりパンや肉が多く、生野菜が少ない印象でした。ホストマザーはとても料理が得意な人だったので、どの食事もおいしかったです。特に、私たちに気を使ったのか、たまにご飯を炊いてくれたり、ズッキーニの天ぷらを作ってくれたのがとても嬉しかったです。アメリカの食事のサイズは本当に大きいので、外で食べる時は十分に気を付けたほうが良いと思いました。

このようにして、約 3 週間本当に楽しく生活することができました。現地での生活はとても短く感じ、別れが名残惜しかったです。英語力をあげたいと思っている人やアメリカの文化を体験したい人、長期留学の前に慣れておきたい人などにお勧めできると思います。私にとっても一生の宝物になりました。函館でサポートしてくれた方々や、南ユタ大

学のカウンセラー、教授、ホストファミリー、そして一緒に3週間過ごした日本の仲間たちに本当に感謝しています。ありがとうございました。

📷 最終日、ラスベガス空港にて 📷

